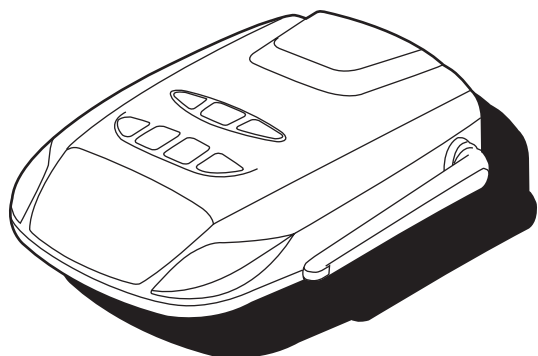


カーロケータシステム受信&
350.1MHz受信機能搭載
GPSレーダー探知機

GP-930CL

取扱説明書/保証書



この度はベストワンシリーズをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び操作手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。尚、読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。



目次	ページ
ご使用上の注意	2
GPS機能について	3
各部の名称	4~5
取付け方法	6~7
配線方法	8
機能と操作方法	9~17
警報方法	18~22
故障かな?と思ったら/製品仕様	23

GPS機能について

- GPSとは
「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。
- GPSレーダーの警報システム
衛星からの電波を受信して現在位置・移動方向・移動速度を算出し、あらかじめ登録してあるオービス・Nシステムのデータ（座標データ等）とを比較演算し、オービス・Nシステムに接近すると警報を行います。又、本製品内蔵のメモリー（記憶装置）に任意の警報ポイントを100件登録する事が可能です（ユーザーメモリー）。
- 衛星受信開始時間
GPSレーダーの電源ONから衛星受信を行う迄の時間。

前回、電源OFFしてからの時間	衛星受信迄の時間
～5時間	～10秒程度
～数日間	～1分程度
ご購入後又は、1ヶ月程度以上	～5分程度

※参考数値です。実際の使用される場所によっては時間が変わります。
- 衛星受信復帰時間
走行中、トンネル・高架下・屋内等で一時的にGPS衛星が受信できない場所から受信できる場所へ移動した時、再受信する迄の時間。
(高架下等にオービスがある場合は衛星受信ができず、警報が行えない場合があります。注意してください。)

衛星受信できない状態	衛星受信迄の復帰時間
10秒以下	2秒程度
10秒～60秒	5秒程度
60秒以上	10秒以上

※参考数値です。実際の使用される場所によっては時間が変わります。
- GPS測定誤差について
本製品の測位計測機能は衛星の受信状態等により、約50m程度の測定誤差が出る場合があります。
- 登録データについて
データ作成年度・バージョンはパッケージ及び、本製品に記載しています。
(注) 今現在でも新たにオービス・Nシステムが増設されており、又、調査箇所以外にもオービス・Nシステムが設置されている可能性があります。お車を運転するときは安全の為、必ず法定速度内で走行してください。
- 登録データ最新バージョンへの書き換え
・本製品の登録データは最新バージョンへの書き換えが可能です(有料)。
・最新バージョンデータのリリースについては、販売店店頭・コムテックホームページにてお知らせ致します。(http://www.e-comtec.co.jp)

ご使用上の注意

ご使用前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

- ⚠ **警告**：警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。
- ⚠ **注意**：注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

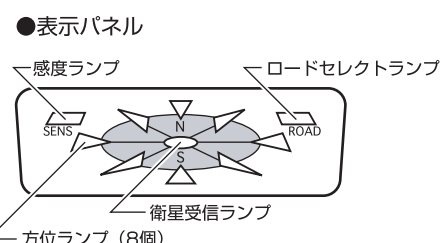
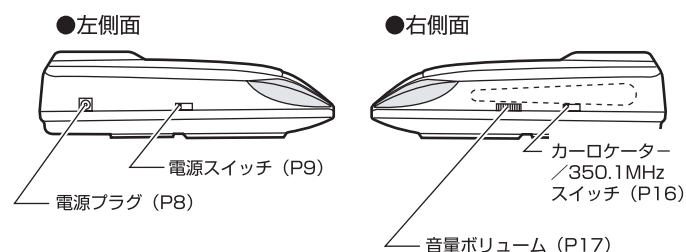
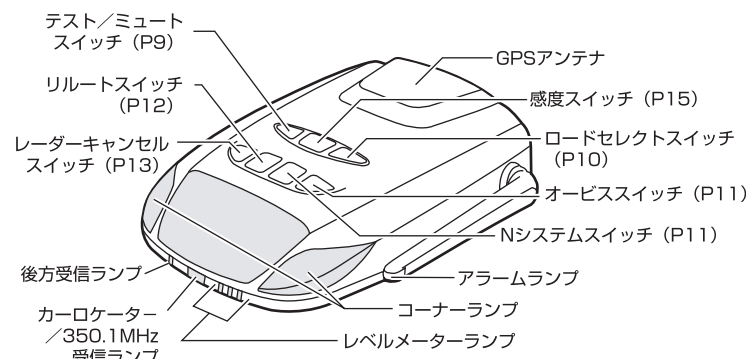
⚠ 警告

本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
 運転中は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください。
 本製品は電子部品を使用した精密機器ですので衝撃をあたえないでください。故障の原因となります。
 本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。又、自動車の機能（エアバック等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理をご依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。

⚠ 注意

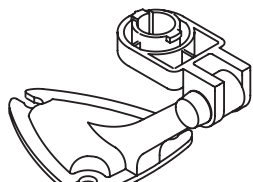
万一、製品本体にロット番号シールがない場合は、商品をご使用前に弊社へご連絡ください。保証書には必ず「販売店名」「お買い上げ日」が記入されているか、記載の内容をご確認頂き、大切に保管してください。
 本製品はDC12V車専用です。(DC24V車へのお取付けはできません)
 本製品を取付けてのスピード違反等に関しては、弊社では一切の責任を負いかねます。
 本製品の仕様及外觀、付属品内容は、改良の為予告なく変更することがあります。ご了承ください。
 本製品近辺に他のGPS機能を持つ製品を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
 本製品は衛星からの電波を受信して現在位置・移動方向・移動速度を算出し、あらかじめ登録してあるオービス・Nシステムのデータ（座標データ等）とを比較演算し、オービス・Nシステムに接近すると警報を行います。GPS電波を受信できない状況下では、GPS機能での警報を行いません。本製品のGPS機能は予め登録されたオービス・Nシステムと、お客さまが任意で登録した位置のみ有効です。
 受信場所によりGPS衛星の電波が受信しにくい場所、受信できない場所があります。(トンネル内・屋内・高架下・高層ビルに囲まれた場所・高い樹木に囲まれた場所等)
 GPS衛星は米国国防総省により管理されており、国防当局の都合で故意に精度が変更されることがあります。又、受信状況によっては、約50m程度の誤差が生じる場合があります。
 一部のナビゲーションシステム(GPS)で漏れ電波が取り回し機と同じ周波数の場合、本製品レーダー機能が受信することがあります。
 取締り機と同一周波数のマイクロ波を使用した機器(下記)周辺で、本製品レーダー機能が受信する事がありますが、誤作動ではありません。あらかじめご了承ください。
 (自動ドア・防犯センサー・車輪通過計測器・気象用レーダーの一部・航空用レーダーの一部)一部、断熱ガラス(金属コーティング・金属粉入り等)、ミラー式フィルム装着車の場合GPS衛星の電波及び、レーダー波の受信できない場合があります。

各部の名称 (製品本体)

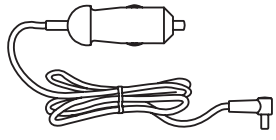


※取扱説明書内のイラストと実際の製品は一部形状等が異なる場合があります。

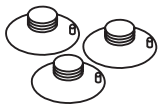
各部の名称 (梱包内容)



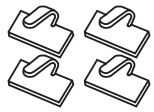
ステー (1個)



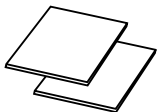
12V専用シガープラグ (1個)



吸盤 (3個)



コードクランプ (4個)



両面テープ (2枚)

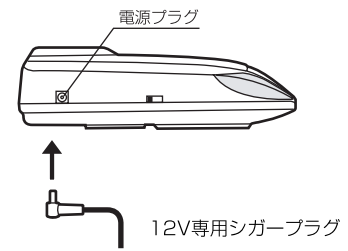
※取扱説明書内のイラストと実際の製品は一部形状等が異なる場合があります。

5

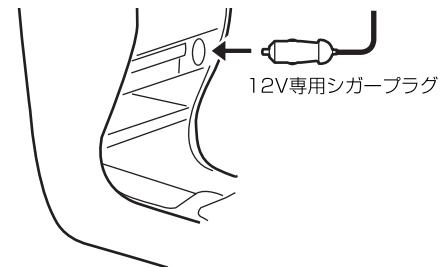
配線方法

(注) 運転や視界の妨げにならず、車輛の機能 (エアバック等) に影響のない場所に取付けてください。

- 1 12V専用シガープラグを本製品の電源プラグに差し込みます。



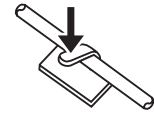
- 2 12V専用シガープラグを車輛のシガーソケットに差し込みます。



- 3 付属のコードクランプを使用し12V専用シガープラグのコードを運転に支障のないように取付けます。
(注) 貼付け面の汚れを十分に拭き取ってから取付けてください。



- ◆裏面の両面テープをはがしダッシュボード等にコードクランプを貼付けます。



- ◆コードを通して、矢印部分を押し曲げてコードを固定します。

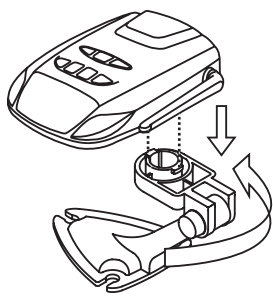
8

取付け方法

(注) 運転や視界の妨げにならず、車輛の機能 (エアバック等) に影響のない場所に取付けてください。

●ステーの取付け方法

ステーのツメ部分を本体底面の凹にあわせてはめ込み、向きを調整します。



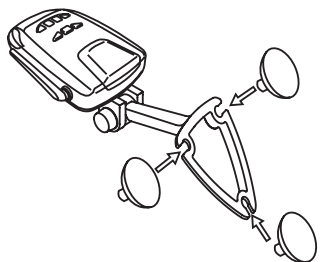
●ダッシュボードへの取付け

付属の両面テープを1個又は、2個使用してダッシュボード上に取付けます。両面テープは必要な形状にカットしてご使用ください。
(注) 貼付け面の汚れを十分に拭き取ってから取付けてください。



●フロントガラスへの取付け

付属の吸盤を3個使用してフロントガラスに取付けます。
(注) 取付け面の汚れを十分に拭き取ってから取付けてください。



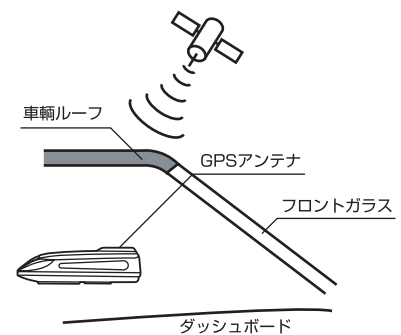
7

取付け方法

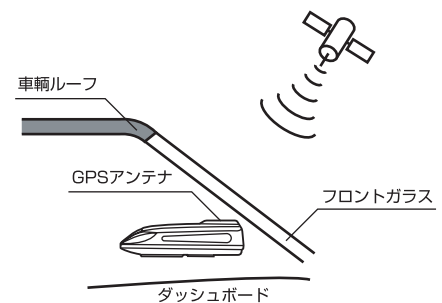
●本製品お取付けの前に

- ・GPSアンテナ上方向、前方向に遮蔽物があるとGPS衛星からの電波が受信できなくなります。取付けには十分注意してください。
- ・車輛進行方向に対して垂直、路面に対して平行に取付けてください。

✕ 車輛ルーフによって電波が受信できない



○ 障害物がないので電波の受信ができる

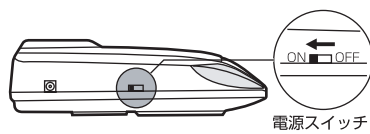


6

機能と操作方法

【電源スイッチ】

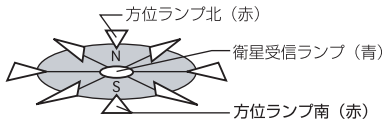
- 本製品の電源ON・OFFを行います。
- 電源スイッチを操作する時は、他のスイッチを押さないように注意してください。
- 電源ON後、数秒～数分（P3）で衛星からの電波を受信し衛星ランプが点灯します。



(注)
 ・一部車種でイグニッションキーオフの状態でもシガーライターが通電する車種があります。お車をご使用しない時は、必ず本製品の電源をOFFにしてください。
 ・長時間、本製品をご使用しない場合は電源をOFFにしてください。

【衛星受信ランプ/コンパス機能】

- 衛星受信ランプ…GPS衛星の受信状態により下記表のように衛星ランプ（青）が点灯します。
- コンパス機能…GPS衛星受信状態で走行中、方位ランプ（赤）にて、車輛の進行方向を表示します。（8方位）
 (注) GPS衛星が受信できていない時、駐停車時等は正確な進行方向表示がされません。



(注) 本製品が正確な測位計測を行うには、3機以上の衛星を受信する必要があります。受信衛星数が2機以下の場合、全てのGPS機能は作動しません。

ランプ	受信状態	音声アナウンス
青点灯	3機以上の衛星を受信	初期受信時のみ「ピンポーン 衛星を受信しました」
消灯	2機以下の衛星を受信	なし

【テスト/ミュート機能】

- 各ランプ、アラーム音の動作確認を行うテストと取締り機の位置確認後、不要な警告音をミュート（消音）します。
 (警) 運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください



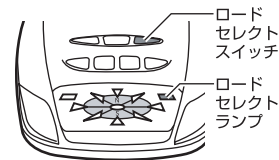
テスト機能	本機の電源ONで、警報を行っていない状態で、テスト/ミュートスイッチを押すと約18秒間、各ランプ、アラーム音がテスト動作します。 ※テスト動作中に再度、テスト/ミュートスイッチを押すとテスト動作が停止します。
ミュート機能	本機が警報中にテスト/ミュートスイッチを1回押すと方位ランプが点滅し警報音（アラーム）をミュート（消音）します。 ※レーダー警報、350.1警報、カーローケータシステム警報は、電波を受信している間ミュートします。 ※GPS警報は対象とする取締り機を通過する迄ミュートします。

9

機能と操作方法

【ロードセレクトの設定】

- 高速道路上のオービス・Nシステムのみ警報を行う「ハイウェイモード」、一般道路上のオービス・Nシステムのみ警報を行う「シティモード」、高速・一般道路両方のオービス・Nシステムの警報を行う「オールモード」を選択します。



- 1 電源ONの状態にします。
- 2 ロードセレクトスイッチを押す毎に（オール→シティ→ハイウェイ）の順に設定されます。（出荷時は「オール」に設定してあります）
- 3 下記表を参照し、走行条件にあわせた走行モードを設定してください。

ロードセレクトモード	ロードセレクトランプ	警報を行う道路
オール	橙点灯	一般道路/高速道路
シティ	赤点灯	一般道路のみ
ハイウェイ	緑点灯	高速道路のみ

- 以下の道路を高速道路（ハイウェイモード）として登録してあります。

・道央自動車道・札幌自動車道・秋田自動車道・東北自動車道・関越自動車道・上越自動車道・常磐自動車道・東関東自動車道・館山自動車道・東名自動車道・東海北陸自動車道・北陸自動車道・中央自動車道・名神自動車道・近畿自動車道・山陽自動車道・中国自動車道・舞鶴自動車道・米子自動車道・浜田自動車道・四国自動車道・九州自動車道・宮崎自動車道・大分自動車道・長崎自動車道・西九州自動車道・宇佐別府道路・沖縄自動車道・首都高速自動車道・第三京浜・横浜横須賀道路・千葉東金道路・名古屋高速・南知多道路・東名阪自動車道・阪神高速道路・神戸淡路湾門自動車道・阪和自動車道・第二神明道路・京滋バイパス・第二阪奈有料・西名阪道・福岡都市高速・北九州都市高速・等（2001年11月開通分のみ）

- モード確認アナウンス

・シティモード設定時
 車速が80km/h以上になると「モード確認をしてください」とアナウンスします。
 （再度アナウンスするのは、一旦車速が60km/h以下になった場合となります）

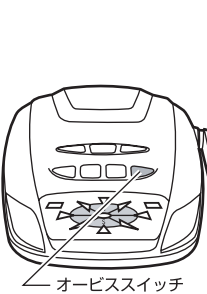
・ハイウェイモード設定時
 車速が0km/hになると「モード確認をしてください」とアナウンスします。
 （再度アナウンスするのは、一旦車速が30km/h以上になった場合となります）

10

機能と操作方法

【オービスポイント追加・削除/オービス警報キャンセル】

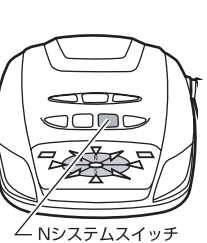
- オービスポイントの追加…本製品に未登録又は、新たに設置されたオービスを任意に追加できます。
- オービスポイントの削除…任意に追加したオービスポイントを削除します。
- オービス警報キャンセル…オービスの警報（音）を1件単位でキャンセル（消音）します。
- ※登録済みオービスポイント及び、任意で追加したオービスポイントもキャンセル可能。
 (警) 運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください



オービスポイント追加	登録地点を走行中、GPS警報を行っていない時にオービススイッチを1回押します。（2秒以内） 2秒後に「オービス登録しました」とアナウンス音が出れば登録完了です。
オービスポイント削除	削除地点を走行中、GPS警報を行っている時にオービススイッチを長押しします。（2秒以上） 2秒後に「オービス消去しました」とアラーム音が出れば削除完了です。
オービス警報キャンセル設定	キャンセル設定地点を走行中、GPS警報を行っている時にオービススイッチを1回押します。（2秒以内） ※方位ランプが点滅します。
オービス警報キャンセル解除	キャンセル地点を走行中、GPS警報を行っている時に（消音状態）オービススイッチを1回押します。（2秒以内）

【Nシステムポイント追加・削除/Nシステム警報キャンセル】

- Nシステムポイントの追加…本製品に未登録又は、新たに設置されたNシステムを任意に追加できます。
- Nシステムポイントの削除…任意に追加したNシステムポイントを削除します。
- Nシステム警報キャンセル…Nシステムの警報音を1件単位でキャンセル（消音）します。
- Nシステム一括キャンセル…全てのNシステムの警報音をキャンセル（消音）します。
- ※登録済み及び、任意に追加したNシステムポイントがキャンセル可能。
 (警) 運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください



Nシステムポイント追加	登録地点を走行中、GPS警報を行っていない時にNシステムスイッチを1回押します。（2秒以内） 2秒後に「Nシステム登録しました」とアナウンス音が出れば登録完了です。
Nシステムポイント削除	削除地点を走行中、GPS警報を行っている時にNシステムスイッチを1回長押しします。（2秒以上） 2秒後に「Nシステム消去しました」とアラーム音が出れば削除完了です。
Nシステム警報キャンセル設定	キャンセル設定地点を走行中、GPS警報を行っている時にNシステムスイッチを1回押します。（2秒以内） ※方位ランプが点滅します。
Nシステム警報キャンセル解除	キャンセル地点を走行中、GPS警報を行っている時に（消音状態）Nシステムスイッチを1回押します。（2秒以内）
Nシステム一括キャンセル設定/解除	Nシステムスイッチを押したままの状態、電源スイッチをOFFからONにします。 ※解除の場合も同様の操作で行います。

11

機能と操作方法

【リルートナビ機能】

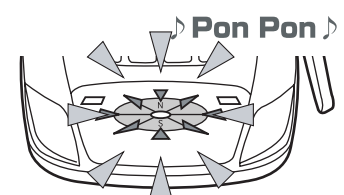
- 走行時、リルートスイッチを押すことで現在位置をリルートポイントとして登録し、再度通過する時にチャイムでお知らせします。（登録件数：50件）
 始めて通る道での交差点・分岐路等をリルートポイントとして登録すれば帰り道、登録したリルートポイントの半径50m内で、チャイム音と方位ランプの点滅によりお知らせします。
 (警) 運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください



リルートポイント追加	登録地点を走行中、リルートスイッチを1回押します。（2秒以内） 「リルート登録しました」とアナウンス音が出れば登録完了です。
リルートポイント1件削除	リルートポイントお知らせ中、（コンパスランプ点滅中）リルートスイッチを1回長押しします。（2秒以上） 「リルート消去しました」とアナウンス音が出れば削除完了です。
リルートポイント全件削除	リルートスイッチを押したまま、電源スイッチをOFF→ONにします。 「リルート消去しました」とアナウンス音が出れば削除完了です。

- リルートポイント通過時のお知らせ方
 登録済みリルートポイントを通過した場合、下記のようにチャイム音とランプでお知らせします。

チャイム音	ポーン ポーン
方位ランプ	8個がフラッシング

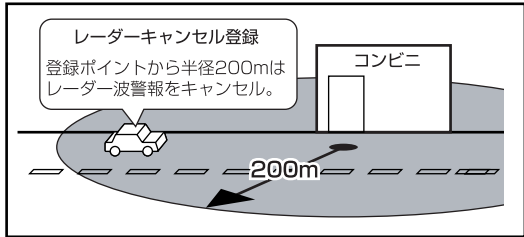
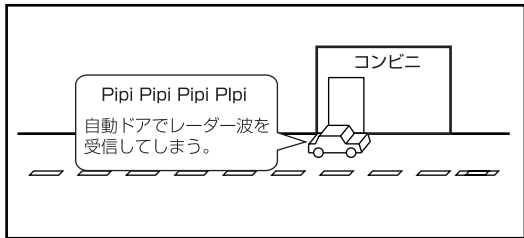


12

機能と操作方法

【レーダーキャンセル機能】

- 自動ドア等、レーダー波を受信してしまう場所等を登録すれば、半径200m内のレーダー警報をキャンセル（消音）します。（登録件数：50件）
（警）運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください



レーダーキャンセル登録	レーダー警報時、レーダーキャンセルスイッチを1回押しします。（2秒以内） ※方位ランプが点滅します。 「キャンセル登録しました」とアナウンス音ができれば登録完了です。
レーダーキャンセル削除	レーダーキャンセル登録位置で、レーダーキャンセルスイッチを1回長押しします。（2秒以上） 「キャンセル消去しました」とアナウンス音ができれば削除完了です。

機能と操作方法

【LSC機能】

LSCとは…ロー・スピード・キャンセルの略称で、GPS機能を使用して算出した自車の走行速度が低速の場合、レーダー及び、GPSの警報音をキャンセル（消音）します。（カーロケーター/350.1MHz受信時の警報音はキャンセルされません）

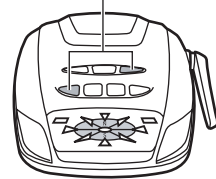
- 下記表の走行速度でLSCが動作します。

警報種類		LSC動作速度
GPS警報	レーダー受信警報	
一般道路オービス	オール・シティモード時	20km/h以下
高速道路オービス	ハイウェイモード時	60km/h以下

（注）GPS衛星の受信が行えない場合は、LSC機能は動作しません。

- LSC機能の解除

2つのスイッチを同時に押します。



- 1 電源をOFFの状態にします。
- 2 レーダーキャンセルスイッチ、ロードセレクトスイッチの2つを同時に押したままの状態、電源スイッチをONにします。
- 3 約1秒後「ピッ」と音がすればLSC機能の解除完了です。
- 4 LSC機能を再度設定する場合は①～③を行います。

機能と操作方法

【レーダー受信感度設定】

- 本製品はレーダー受信の感度をLOW（ロー）.HI（ハイ）.S-HI（スーパーハイ）の3段階に手で設定するマニュアル設定機能と、GPS機能を使用して算出した速度に適切な感度を自動設定するASC-i機能とがあります。
※商品出荷時はマニュアル感度設定・S-HI（スーパーハイ）に設定してあります。

マニュアル設定機能

感度スイッチを長押し（2秒以上）する毎に「マニュアル設定機能」と切り替えます。



- 1 電源がONになっていることを確かめてから、感度スイッチを長押しし、（2秒以上）マニュアル設定機能に切替えます。（アラーム音が「ピッピッ」と鳴ります）
- 2 感度スイッチを押す毎に受信感度がLOW → HI → S-HIの順に切替ります。下記表を参照に最適な受信感度を設定してください。

感度ランプ	受信感度	適切な走行場所	走行状態
赤	LOW（ロー）	市街地	低速走行
橙	HI（ハイ）	郊外地	中速走行
緑	S-HI（スーパーハイ）	高速道路	高速走行

ASC-i 機能

ASC-iとは…オート・センシティブ・コントロール・インテリジェンスの略称で、GPS機能を使用して算出した自車の走行速度にあわせて適切なレーダー受信感度を自動で設定する機能です。

感度スイッチを長押し（2秒以上）する毎に「マニュアル設定機能」と切り替えます。



- 1 電源がONになっていることを確かめてから、感度スイッチを長押しし、（2秒以上）ASC-i機能に切替えます。（アラーム音が「ピッピッピッ」と鳴ります）
- 2 ASC-i機能設定状態で走行すると、下記表の様にレーダー受信感度が走行速度にあわせて自動で設定されます。（注）ASC-i機能設定状態で、GPS衛星の受信が行えない場合は、受信感度はS-HIに固定されます。

感度ランプ	受信感度	走行速度
赤	LOW（ロー）	40km/h未満
橙	HI（ハイ）	40km/h ~ 80km/h
緑	S-HI（スーパーハイ）	80km/h以上

機能と操作方法

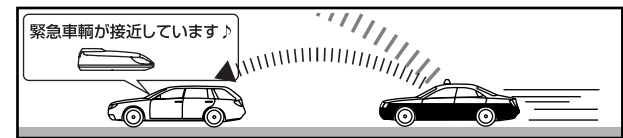
【カー・ロケーター・システム/350.1MHz 受信機能】

- カー・ロケーター・システムとは…

正式名称を「無線自動車動態表示システム」と言い、緊急車両に装備されたGPS受信機より算出した位置データを無線で定期的（間欠）に各本部の車輛管理センターへ送信するシステムです。
本製品は緊急車両からの電波を受信し、音声で警報を行い、緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。



現在、緊急車両の多くはGPSより算出した位置データを無線で定期的（間欠）に各本部に送信するカー・ロケーター・システムを装備しています。



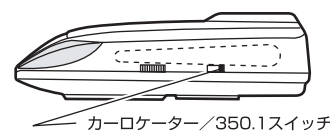
本製品は各本部へ送信している電波を受信し、音声で警報を行い、緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

- （注）
- 一部地域または、一部緊急車両には、カー・ロケーター・システムが装備されていない為、本製品では受信できない場合があります。
 - カー・ロケーター・システムは間欠（3秒～15秒間欠）で送信される為、実際の緊急車両の接近と受信タイミングにズレが生じる場合があります。
 - 緊急車両は走行状態（緊急走行、通常走行、駐停車）によって、電波の送信時間が変化するため、実際の緊急車両の接近と受信タイミングにズレが生じる場合があります。
 - 緊急車両がエンジン停止時は電波の送信を行わない為、本製品での受信はできません。
 - 送信電波の中継局、受信本部近辺では緊急車両の接近に関わらず受信する場合があります。
 - 本製品が受信するカー・ロケーター・システムは、パトカー、覆面パトカーを中心に導入されており白バイ、救急車、消防自動車等には現在導入されておりませんが、将来的には導入する可能性があります。

- 350.1MHzとは…

取締り用連絡無線で使用する周波数帯で、速度違反取締りや、シートベルト装着義務違反取締り等で使用することがあります。又、通話内容をコード化したデジタル無線を使用するケースもあり、音声受信ができない場合もあります。

- カーロケーター/350.1MHzを設定する。



- 1 カーロケーター/350.1MHzスイッチをONにします。

警報方法

【対象とする取締り方法】

- 本製品は以下の4種類の警報を行います。
- ・GPS警報・・・本機に登録されたオービス・Nシステムに接近した事をGPS機能にて算出し警報を行います。
- ・レーダー警報・・・速度取締り機が発信するレーダー電波を受信し警報を行います。
- ・カーロケータ警報・・・緊急車輛（パトカー、覆面パトカー）が使用しているカーロケータシステムを受信して警報を行います。
- ・350.1MHz警報・・・取締り現場で使用される事のある取締り用連絡無線を受信して警報を行い、会話内容を受信します。

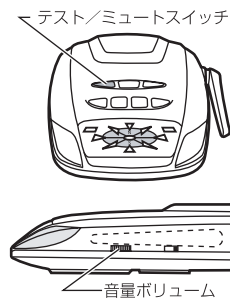
●各取締り機に対して下記表の様に警報を行います。

取締り種類		GPS警報	レーダー警報	カーロケータ警報	350.1MHz警報
オービス式取締り	ループコイル (光電管式含む)	●			
	Hシステム	●	●		
	LHシステム	●			
	レーダー	●	●		
有人式取締り	レーダー		●		
	ステルス		●		
	移動オービス (レーダー)		●		
緊急車輛	レーダー搭載パトカー		●		
	カーロケータシステム搭載パトカー			●	
	カーロケータシステム搭載覆面パトカー			●	
その他	取締り用連絡無線 350.1MHz				●
	Nシステム	●			

機能と操作方法

【警報音量の調整】

●本機の警報音量を下記手順で調整します。

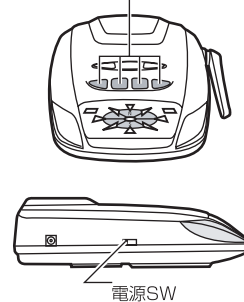


- 1 電源がONになっている事を確認し、警報を行っていない状態の時に、テスト/ミュートスイッチを押します。
(約18秒間、テスト音が鳴り、各ランプが点灯します)
- 2 テスト音を確認しながら、音量ボリュームで調整します。
(音量ボリュームを-へ回すと音量が小さく、+へ回すと音量が大きくなります)

【データリセット】

●全ての登録を行ったデータをリセット（初期化）し、商品出荷時の状態に戻します。

- (警) データリセットを行うと、オービスポイント・Nシステムポイント・リルートポイント・レーダーキャンセルポイント等の登録データは全て消去します。又、消去したデータの復元はできません。
(注) 商品出荷時、予め登録してあるオービスポイント・Nシステムポイントのデータは消去できません。
4つのスイッチを同時に押します。



- 1 電源をOFFの状態にします。
- 2 レーダーキャンセルスイッチ、リルートスイッチ、Nシステムスイッチ、オービススイッチの4つを同時に押したままの状態、電源スイッチをONにします。
- 3 約1秒後「ピッ」とアラーム音が鳴りデータリセット完了です。

【ディスプレイモード（販売店向け機能）】

●本製品の一連の動きをデモンストレーションします。ディスプレイとしてご使用なさる場合等に設定を行ってください。



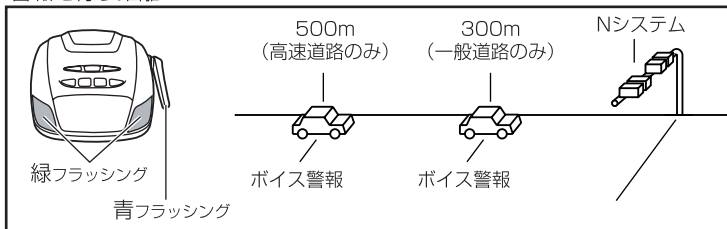
- 1 感度スイッチ、ロードセレクトスイッチを同時に押したままの状態、電源スイッチをONにします。
※再度、同じ操作で解除します。

警報方法

【GPS警報 つぶき】

●Nシステムポイントに接近した場合、下記の様に警報を行います。
※対向車線上のNシステムへの警報は行いません。

警報を行う距離



(注) 警報を行う距離は、対象とするNシステムからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。

ボイス警報の内容

オービス種類	ボイス内容
	※ () 内の言葉は、高速上のNシステム警報時にアナウンスします。
Nシステム	ピンポーン この先 (高速道路上に) Nシステムがあります。
Nシステムポイント追加箇所	ピンポーン この先 (高速道路上に) ユーザー登録Nシステムがあります。

(注) GPS電波が受信できていない状態では、GPS警報ができない場合があります。

【カーロケータ/350.1MHz警報】

●カーロケータ及び、350.1MHzを受信した場合下記の様に警報を行います。

受信電波	警報内容	カーロケータ/350.1MHzランプ
カーロケータシステム	「ピンポーン」 「注意してください。緊急車輛です」	警報時フラッシング (赤)
350.1MHz (取締り連絡無線)	「ピンポーン」 「無線を受信しました」 ～無線会話受信～	警報時フラッシング (赤)

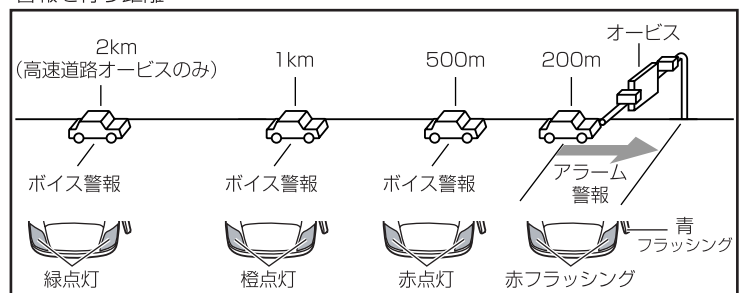
(注) ・350.1MHzのデジタル無線を受信した場合は、無線会話受信が行えません。ノイズ音として出力されます。
・カーロケータ/350.1MHz警報中の場合でもレーダー警報又は、GPS警報を優先して行います。

警報方法

【GPS警報】

●オービスポイントに接近した場合、下記の様に警報を行います。
※対向車線上のオービスへの警報は行いません。

警報を行う距離



(注) 警報を行う距離は、対象とするオービスからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。

ボイス警報の内容

オービス種類	ボイス内容
	※ () 内の言葉はオービス迄の直線距離、高速・一般道等によって変わります。
ループコイル光電管	ピンポーン 注意してください、約 (2km・1km・500m) 先、(高速道路上に) ループコイル式オービスがあります。
LHシステム	ピンポーン 注意してください、約 (2km・1km・500m) 先、(高速道路上に) LHシステム式オービスがあります。
Hシステム	ピンポーン 注意してください、約 (2km・1km・500m) 先、(高速道路上に) Hシステム式オービスがあります。
レーダー	ピンポーン 注意してください、約 (2km・1km・500m) 先、(高速道路上に) レーダー式オービスがあります。
オービスポイント追加箇所	ピンポーン 注意してください、約 (2km・1km・500m) 先、(高速道路上に) ユーザー登録オービスがあります。
トンネル出口付近	ピンポーン 注意してください、トンネル出口に○○○○式オービスがあります。※○○○○部にオービス種類をアナウンスします。

(注) GPS電波が受信できていない状態では、GPS警報ができない場合があります。

アラーム警報の内容

オービス手前 200m地点より	アラーム音 ピッピッピッピッ・・・ピッピッピッピッ・・・
-----------------	---------------------------------

警報方法

【レーダー警報】

●レーダー式取締り機に接近した場合、下記の様に警報を行います。

レーダー式取締り機 迄の距離 (電波の強さ)						
レベルメーター (緑)						
アラーム音 受信感度 (ランプ色)	<table border="1"> <tr> <td>LOW (赤)</td> <td>警報音が鳴らない</td> </tr> <tr> <td>Hi (橙)</td> <td rowspan="2">警報音が鳴る</td> </tr> <tr> <td>S-Hi (緑)</td> </tr> </table>	LOW (赤)	警報音が鳴らない	Hi (橙)	警報音が鳴る	S-Hi (緑)
LOW (赤)	警報音が鳴らない					
Hi (橙)	警報音が鳴る					
S-Hi (緑)						
2ステップアラームの タイミング						
ステルス波受信	レベルメーターが交互に点滅し、専用アラーム音で警報します。 					
後方レーダー受信 (緑)	後方からレーダー波を受信した場合、後方受信ランプが点灯し、警報を行います。 					

(注) ・レーダー警報中の場合でも、GPS警報を優先して行います。
・レーダー警報中にカーロケーター/350.1MHzを受信しても、警報は行いません。

その他

【故障かな?と思ったら/製品仕様】

●製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	●電源SWはオンになっていますか? ●12V専用シガープラグは正しく配線されていますか? ●シガープラグ内のヒューズは切れていませんか? ●車載シガーソケット内にゴミ、埃等が付着していませんか?	9ページ 8ページ
GPS衛星を受信 しない	●本体は正しく取付けられていますか? ●周辺 (アンテナ上部) に電波を遮断する物はありませんか?	6ページ 6ページ
警報をしない	●音量は正しく設定してありますか? ●ロードセレクトは正しく設定してありますか? ●LSC機能が作動していませんか?	17ページ 10ページ 14ページ
GPS警報をしない 場合	●周辺 (アンテナ上部) に電波を遮断する物はありませんか? ●反対 (対向) 車線上のオービスではありませんか? ●オービス・Nシステム以外の取締り機ではありませんか? ●新たに設置されたオービス・Nシステムではありませんか? ●誤って警報キャンセルを設定していませんか?	6ページ 19ページ 18ページ 3ページ 11ページ
レーダー警報をしない 場合	●レーダー式以外の取締りではありませんか? ●誤ってレーダーキャンセルを設定していませんか?	18ページ 13ページ
カーロケーター/ 350.1MHz 警報をしない場合	●対象はカーロケーターシステム搭載の緊急車両ですか? ●350.1MHzのデジタル無線ではないですか?	16ページ 16ページ
LSC機能が働か ない	●周辺 (アンテナ上部) に電波を遮断する物はありませんか? ●LSC機能の解除を行っていませんか?	6ページ 14ページ
ASC-i機能が働か ない	●周辺 (アンテナ上部) に電波を遮断する物はありませんか? ●ASC-i機能を設定してありますか?	6ページ 15ページ
ユーザーメモリー の登録ができない	●周辺 (アンテナ上部) に電波を遮断する物はありませんか? ●オービス・Nシステムあわせて101件以上を登録していませんか?	6ページ 11ページ
リルートポイント の登録ができない	●周辺 (アンテナ上部) に電波を遮断する物はありませんか? ●51件以上を登録していませんか?	6ページ 12ページ
レーダーキャンセル の登録ができない	●周辺 (アンテナ上部) に電波を遮断する物はありませんか? ●51件以上を登録していませんか?	6ページ 13ページ
コンパス機能が正 しく表示しない	●周辺 (アンテナ上部) に電波を遮断する物はありませんか?	6ページ

●製品仕様

電源電圧	DC12V	受信方式	マルチチャンネル16ch
最小消費電流	200mA		ダブルスーパーヘテロダイン
最大消費電流	250mA	測位更新時間	1秒
受信周波数	GPS (1575.42MHz)	検波方式	FMトラッキングタイムカウンタ方式
	Xバンド (10.525GHz)	動作温度範囲	-10℃~60℃
	Kバンド (24.200GHz)	本体サイズ	78.0 (W) × 110.0 (L)
	取締り用連絡無線 (350.1MHz)		× 31.5 (H) / mm (突起部除く)
	カーロケーターシステム (407MHz帯4ch)	重量	150g